

令和6年度
事業計画書

自 令和6年4月1日
至 令和7年3月31日

1 演奏事業	01~02
2 音の向上基金事業	02
3 エール基金事業	02

令和6年度 事業計画

名古屋フィルハーモニー交響楽団（以下名フィル）は、昭和41（1966）年に創立した歴史ある楽団として、交響管弦楽による音楽芸術の普及向上を図り、文化の発展に寄与するため、川瀬賢太郎音楽監督のもと公演内容の充実を図り、次のような演奏事業活動を行う。

1 演奏事業

(1) オーケストラ演奏事業

ア 定期演奏会 27回

内外の著名な指揮者・ソリストを招き、楽団のさらなる技術向上と音楽芸術の発展を目指して定期演奏会を開催する。

愛知県芸術劇場においては、桂冠指揮者＝小林研一郎がシーズンの幕開けを飾り、選りすぐりのエモーショナルな傑作を「喜怒哀楽」シリーズとして、定期演奏会を年間11回22公演開催する。

Niterra 日本特殊陶業市民会館では「和欧混交」と題した市民会館名曲シリーズを、日本の作曲家とヨーロッパの大作家のミックス・プログラムで5公演開催する。

イ 巡回演奏会 7回

地方自治体等の依頼により、愛知県内外の市町村において開催する。

ウ 移動音楽教室 35回

未就学児及び小・中学生、高校生を対象に音楽鑑賞教室を開催する。

エ 特別演奏会 14回

若年層へのオーケストラの鑑賞機会を増やすために開催している「こども名曲コンサート」を2公演開催するほか、年末の風物詩である「第九」、ならびに障がいのある方などを対象とした「福祉コンサート」等を開催する。また、新たな取組として青少年向けコンサートや子育て世代&マタニティ向けコンサートを開催する。

オ 依頼演奏会 26回

企業・団体等の依頼により開催する。

合 計 109回

(2) アンサンブル（小編成の室内楽）事業等

ア サロンコンサート・ロビーコンサート

音楽プラザの施設を利用した「サロンコンサート」を開催するほか、定期演奏会、特別演奏会の開演前に、演奏会場のホワイエにおいて「ロビーコンサート」を開催する。

イ まちかどコンサート

市民の方々に気軽に名フィルの演奏に親しんでいただくため、人々が集まる場所での「まちかどコンサート」を、施設等と連携して開催する。

ウ 依頼室内楽演奏会

企業や団体等からの依頼によるアンサンブルの演奏活動を実施する。

エ 公開リハーサル

市民との交流を深め名フィルの認知度を高めるため、「公開リハーサル」を開催する。

オ 楽員講師派遣事業

小・中学校に楽員を講師として派遣し、演奏とともに音楽の魅力などを伝える。

2 名フィル魅力向上事業

(1) 海外への魅力発信&姉妹都市文化交流事業

創立 60 周年にあたる令和 8 年度での海外公演（令和 5 年度から延期）の実施に向け、事業企画をスタートさせるもの。

(2) 青少年向けコンサート

なごや子どものための巡回劇場や移動音楽鑑賞教室、こども名曲コンサートではカバーできない、中学生、高校生をはじめとした青少年へ、作曲家や楽曲への興味をそそるコンサートを開催する。

(3) 子育て世代&マタニティ向けコンサート

通常コンサートへの参加が難しく、生演奏に触れる機会が乏しい子育て世代や妊婦の方々へのリラクゼーション、乳幼児への音楽的素養の醸成を図る。

(4) 吹奏楽クリニック

吹奏楽が盛んなこの地域のさらなる音楽的活性のため、クリニックで細やかな指導を行うことで、若い世代への文化振興を図る。

3 音の向上基金事業

名フィルの一層の音の向上を図るため、「音の向上基金」を活用して、世界的に著名な指揮者及び演奏家の招聘を行うほか、楽器を購入する。

(1) 指揮者の招聘

ポーランドの巨匠アントニ・ヴィットをはじめ、2022 シーズンに好評を博したロベルト・フォレス・ベセス、2021 年にベルリン・フィルにデビューしたウェイン・マーシャルなどを招聘する。

(2) 演奏家（ソリスト）の招聘

浜松国際コンクール優勝後活躍が目覚しいピアニストのジャン・チャクムル、世界的人気チェリストのカミーユ・トマ、ウィーン・フィル首席フルートのワルター・アウアー、世界最高のピアニストとして君臨するサー・スティーヴン・ハフを招聘する。

(3) 楽器の購入

コントラバスを1台購入する。

4 エール基金事業

楽員の演奏技術向上等を図るため、「エール基金」を活用し、楽器購入、海外留学及びリサイタル活動に必要な資金を貸し付ける。